

市町村名	南大東村						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	南大東村多目的交流拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25～28年度		沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-9		
事業内容	村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。今年度は既存施設の解体整地を実施する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	26,250		82,404		
		(b) 予算現額	27,000		168,314		
		(c) 増減額(b-a)	750		85,910		
		(d) 繰越額		26,483		50,954	
		A. 計(b+d)	27,000	26,483	168,314	50,954	
	B. 執行済額		0	26,483	117,360	50,879	
	うち交付金充当額		0	21,186	93,888	40,703	
	次年度繰越額		26,483	0	50,954	0	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	69.7%	99.9%	
予算の状況の説明		26年度、既存施設取壊解体において既存施設内にある備品・設備等の再利用品の撤去排出及びPCB、石綿(アスベスト)の処理に不測の日数を要したため、基礎工事費・監理委託業務費の50,954千円を27年度へ繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
	既存施設取壊解体	目標	(基本設計・実施設計の実施)	(既存施設解体)	()	()	
		実績	基本設計・実施設計の実施	既存施設解体			
		目標	()	(基礎工事実施)	()	()	
		実績		基礎工事実施			
	達成状況説明	平成25年度に基本設計・実施設計を実施し、平成26年度に既存施設の解体工事を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	危険既存施設の除去、整地、基礎工事を実施し多目的拠点施設建設への条件を整える	目標	()	(基本設計・実施設計の実施)	(多目的拠点施設建設への条件を整備)		()
		実績		基本設計・実施設計の実施	多目的拠点施設建設への条件を整備		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成26年度活動目標の既存施設取壊解体については、平成27年3月19日に竣工したが、基礎工事については、27年度へ繰り越しとなりその後予定していた駆対工事の着手時期に影響がでた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成26年度において、既存施設内にある備品・設備等の再利用品の撤去排出及びアスベスト材の使用が分かり処理等の設計積算が必要となった為、不足の日数を要した。	当初計画より既存施設の解体撤去が遅れてしまった要因として、アスベストの事前調査の開始が遅くなり工期延長をすることになった。今後は、内部工事及び外構工事等の整備に遅れが生じないように並行して作業を進め工期を短縮する。
今後の取り組み方針		
平成27年6月末で基礎工事を終えた。平成28年度内の供用開始を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
南大東村 168,239千円 工事請負費 165,640千円 委託料 2,599千円 (株)丸 憲 83,020千円 (株)丸 憲 82,620千円 アート技研株式会社 875千円 アート技研株式会社 418千円 アート技研株式会社 1,306千円 〔南大東村離島振興総合センター 解体撤去工事〕 〔南大東村多目的交流センター 基礎工事〕 〔南大東村離島振興総合センター 解体撤去現場技術業務〕 〔南大東村多目的交流センター 基礎工事施工監理業務〕 〔南大東村多目的交流センター 現場技術業務〕				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
168,239	168,239	134,591	33,648	0
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事・委託業務の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額75千円であり適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の視点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		